



杉村楚人冠記念館 冬期企画展「手紙にみる歴史の断片」

本展示では、杉村楚人冠に送られた数々の手紙からみえる歴史を紹介します。人々は当時の事件や戦争について、どのように感じていたのでしょうか。

当時の人々が真の心をつづった、時代を映す鏡ともいえる手紙の数々をぜひご覧ください。

期 間：10月8日（土）～令和5年1月9日（祝）

※月曜日（祝日の場合は翌平日）・年末年始（12月29日（木）～1月3日（火））休館

場 所：杉村楚人冠記念館

入館料：一般300円／高校・大学生200円

展示資料15点の中から、大逆事件に関する楚人冠宛ての手紙を2通紹介します。

◎幸徳秋水絵葉書『近況短信及び漢詩2首』 明治43年4月18日

天皇暗殺計画への関与によって単なるテロリストとなることを恐れた幸徳秋水が、湯河原へ退いた後に楚人冠に送った絵はがきです。

つづられた漢詩2首には、自然への賛美と日本への憂いが込められています。

◎管野須賀子書簡『大逆事件の精査と幸徳の弁護士斡旋依頼』 明治43年6月9日

天皇暗殺計画を企てた一人である管野須賀子（スガ）が、獄中から楚人冠に送ったと思われる針文字書簡です。一見すると真っ白な紙には、針による無数の穴が開いており、文字を形作っています。

この書簡で、管野は楚人冠に、無実で捕まった恋人の幸徳に弁護士のあつせんをしてくれるように頼んでいます。その願いは届かず、幸徳と管野は処刑されました。

【問い合わせ】

我孫子市生涯学習部文化・スポーツ課

杉村楚人冠記念館

担当 武藤

☎ 04-7187-1131（直通）


冬期企画展

ノルマントン号事件、2・26事件、大逆事件…

歴史の裏に手紙あり

手紙にみる歴史の断片

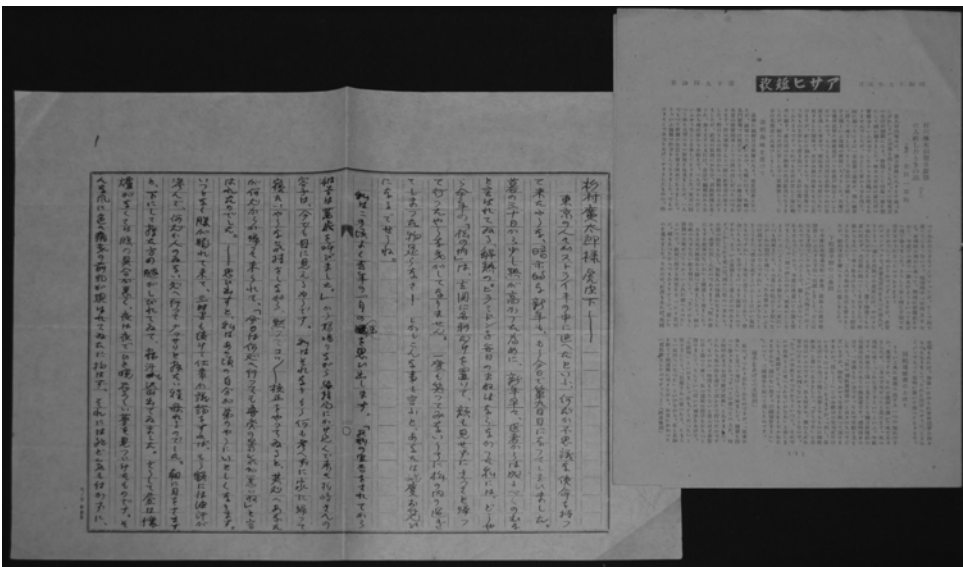
令和4年10月8日（土）
令和5年1月9日（月・祝）

 我孫子市杉村楚人冠記念館
〒270-1153 千葉県我孫子市緑 2-5-5 電話 04-7187-1131

杉村楚人冠に送られた数々の手紙に宿るのは、
 当時を懸命に生きた人々が残した歴史の断片。

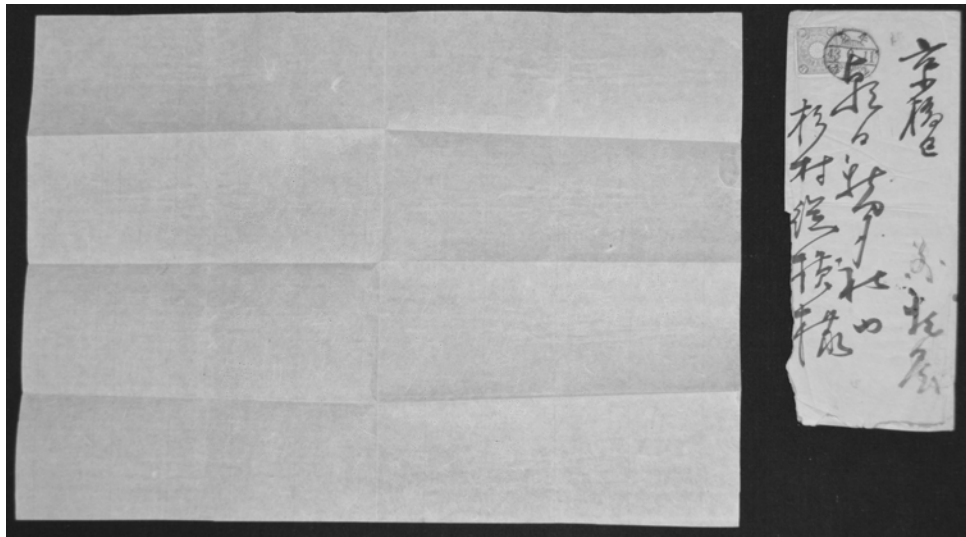
大逆事件 石川啄木

石川一（啄木）書簡
 [年賀の葉書の有
 難い言葉に付き]



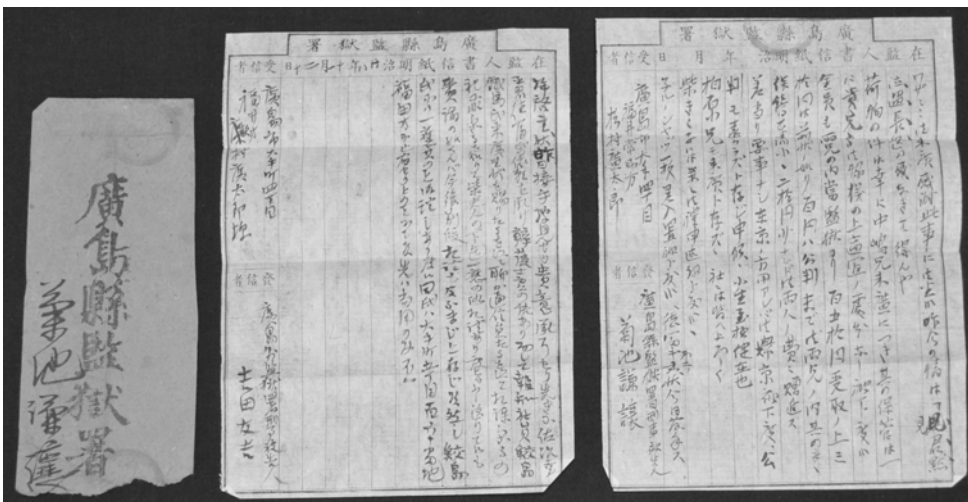
大逆事件 管野須賀子

管野須賀子書簡
 [大逆事件の精査と
 幸徳の弁護士斡旋依頼]



閔妃暗殺事件

菊池謙讓書簡
 [金員配分の件および
 自らの心情や柴きく子
 へのお礼の依頼など]



我孫子市杉村楚人冠記念館

冬期企画展 「手紙にみる歴史の断片」

開館時間 午前9時～午後4時30分（入館午後4時まで）

休館日 月曜日（祝日の場合は次の平日）

入館料 一般300円／高校・大学生200円 中学生以下無料

団体20名以上2割引 障がい者免除あり

3館共通券（白樺文学館・鳥の博物館共通、有効期限1か月） 一般500円／高校・大学生400円

2館共通年間パスポート（白樺文学館共通、1年間入館可、特典あり） 一般2,000円

交通手段 JR常磐線・成田線我孫子駅下車 南口より徒歩9分

阪東バス 緑一丁目・寿一丁目・アビスタ前下車 徒歩5分

駐車場はありません、公共交通機関をご利用ください。